

日本原子力学会炉物理部会第 43 回全体会議 議事録

第 43 回炉物理部会全体会議が開催され、部会賞表彰、審議事項等について審議および報告が吉岡部会長司会のもと行われた。以下にその結果を記す。

日時：平成 27 年 9 月 10 日（木）12:00-13:00

場所：日本原子力学会 2015 秋の大会 A 会場（静岡大学静岡キャンパス共通教育 A 棟 A101）

1. 平成 27 年度炉物理部会賞表彰式

下記 3 名の表彰が行われ、部会長より表彰状授与を行った。

受賞内容と受賞者名：

「小型高温ガス炉の受動的崩壊熱除去のための設計条件の研究」

Odmaa Sambuu（オドゥマー サンブー）氏（東京工業大学）

「ランダムサンプリング法を用いた断面積調整法の研究」

渡邊 友章氏（日本原子力研究開発機構）

「燃料組成変動に対する高速炉炉心設計手法の研究」

丸山 修平氏（日本原子力研究開発機構）

2. 平成 28 年春の年会での企画セッションについて

学術交流小委員会担当幹事より、題記の報告がなされ、報告通りの内容で承認された。

3. 「炉物理部会規約」「炉物理部会内規」「炉物理部会表彰内規」の変更に関する審議、

および「炉物理部会運営小委員会運営要領」の変更に関する報告

担当幹事より題記の報告がなされた。規約と内規については報告通りの内容で承認された。

要領については用語不統一との指摘があり、さらに改訂することとした。再改訂結果についてはメールにて審議することとした。

4. 平成 27 年度予算実績および平成 28 年度予算案報告

財務小委員会担当幹事より平成 27 年度予算執行状況と平成 28 年度予算について報告された。PHYSOR の残金の有効な充当を検討してほしいとの意見があり、検討することとした。

5. 第 47 回炉物理夏期セミナー、若手研究会報告(セミナー小委員会担当幹事他)

セミナー小委員会担当幹事より第 47 回炉物理夏期セミナー開催状況について報告があった。44 名参加（内 22 名が学生）、海外からや留学生も参加し、全て英語での発表・質疑を行った。会計は黒字となり、残金 6 万円であり 5 万円が部会収入になる。

6. 四部会合同日韓サマースクール報告（学術交流小委員会担当幹事）

学術交流小委員会担当幹事から四部会合同日韓サマースクールの開催計画について、次回韓国で開催するとの報告があった。

7. 日中韓ワークショップの準備状況

学術交流小委員会担当幹事から日中韓ワークショップ開催計画について報告があった。キーノートスピーチは部会長と関本先生に依頼したとの報告があった。

また、5名の学生から RPHA2015 への旅費の補助の申請があったとの報告があり、旅費の補助について承認された。

8. 「炉物理の研究」第 68 号の発行状況

編集小委員会担当幹事より「炉物理の研究」第 68 号の発行準備状況について報告があった。掲載希望記事があれば、幹事まで申し出るよう説明があった。

9. 炉物理夏期セミナーテキスト公開について

HP 担当の代理説明者から炉物理夏期セミナーテキスト公開について、電子化を外部委託する場合や OCR 結果を人が確認する場合の費用について説明があった。また、データ公開に関する懸念事項について、すでに報告しているので確認してほしいとの説明があった。会場から、1978 年以降については全てテキストを保有しており協力可能との提案があった。

10. その他

部会長より、炉物理部会賞 特別賞の創設について検討中であり今後提案していきたい旨説明があった。

YGN 担当より、IYNC2016 開催アナウンスがあった。

会場より情報交換会について、予定通り実施するので申込みするようにアナウンスがあった。

岡嶋理事より、「アゴラ」分科会の検討を踏まえて学会長の記者会見で提言を行う件に関連して、部会に依頼や宿題が出される可能性について予告があった。

以上